



技術評価書

申込者：JFE条鋼株式会社 代表取締役社長 渡辺 敦
東京都港区新橋五丁目11番3号

技術名称：ネジプレート定着工法 RC構造設計指針(2022年)

技術概要： 本工法は、GBRC性能証明第07-18号改2(2011年6月1日)取得後、SABTEC技術評価12-01(2012年5月22日)、12-01R1(2013年11月27日)、12-01R2(2015年5月29日)、12-01R3(2016年9月23日)を取得し、12-01R4(2017年4月25日)は、本工法「標準製造・施工要領書」3.3.1無機グラウト材の一部について混練り要領を変更し、RC構造を適用対象とした「RC構造設計指針(2017年)」について行われている。

また、SABTEC技術評価12-01R5(2022年2月21日)は、アスペクト比 ≥ 1.3 のト形接合部のせん断設計などの規定を追加した「RC構造設計指針(2022年)」について行われている。

本委員会は、一般社団法人建築構造技術支援機構「建築構造技術検証要綱」で定めた技術基準と照らし合わせ、下記の通り、本技術は妥当なものであると判断した。

2022年2月21日

一般社団法人
建築構造技術支援機構
建築構造技術審議委員会
委員長 窪田 敏行

記

評価方法： 申込者提出の下記資料によって、技術評価を行った。
ネジプレート定着工法 RC構造設計指針(2022年)
この資料には、本技術の目標性能達成の妥当性を確認した技術資料がまとめられている。この資料のほかに、本工法 標準製造・施工要領書および関連資料が提出されている。

評価内容： 申込者提案のネジプレートは、鉄筋母材の規格引張強さに相当する荷重を受けても損傷せず、本工法設計指針によって設計されるネジプレートを用いた異形鉄筋定着部は、設計で保証すべき長期荷重時、短期荷重時および終局耐力時の要求性能を満足すると判断される。